

2007.6.3 曇りのち晴れ 朽木P818周辺の谷 A例会



ショウキラン

938 クチクボ峠口発 1040 谷の登り  
で谷違い判明 1057 尾根に取り  
付く 1138 高島トレイルの稜線  
1217 本流への下り開始 1240 ス  
ケン分岐・昼食 1400 頃本流  
1533 分岐から右に行きP818に  
1617 谷に下りるが時間を要する  
ため北方向尾根に変更 1715 尾根  
に取り付く 1812P着



谷へののぼり開始

この日のために溪流シューズを購入した。P818から本流に下るといふことで大いに期待する。また、帰りが高島トレイルで地蔵峠というのも魅力的なコースに思えた。



ピンクのギンリョウソウ

クチクボ峠口から、川沿いに進む。いきなりショウキランとの出会い。ところが本来の谷をやり過ごし、より西側の谷に上ってしまう。このため、途中から尾根に取り付くため急斜面を登るはめに。もっとも、このおかげでピンクのギンリョウソウと出会う。ようやく、高島トレイルの稜線につく。なんと、地蔵峠とP818のほぼ中間地点。P818に向かう。所要所にトラテープがあり、稜線歩きを楽しむ。熊に皮剥ぎされた杉もあった。



熊による皮剥ぎ

P 818 の手前からスケン谷を目指し、急斜面を下る。谷に入ると、さほどきつくはないくだりとなる。左からの谷との合流地点で昼食となる。帰りはこの左の谷を溯るとのこと。



P 818 から本流への下り



スケン谷の滝

さらに下っていくと 20m くらいの滝となり、左の斜面を高巻きして下る。降り立ったところは、櫃倉谷の横山峠直下の景色と類似。広い谷、大きな栃の木、感動の場所であった。



スケン谷

本流に入り、水量の豊かさを楽しむ。十分に時間をとった後、再度P818を目指し、スケン谷を上る。分岐で右の谷にはいる。ここは稜線まで緩やかなのぼりであり、杉尾峠へののぼりと似ている。短い時間でP818に到着。



スケン谷の登り



P818 標識



P818 からの急な下り

計画では高島トレイルで地蔵峠に行くことになっていたが、のぼりで予想外であったが、トレイルの半分は踏んでいたため、直下の谷を下ることになった。が、谷は下りとしては結構きつく、時間の事情もあり、右の斜面に取り付き、尾根でくだることになった。

帰りは例によって、針畑ルネッサンスセンターでお茶、平良ふれあいセンターで鹿肉をごちそうになる。Mさんいつもありがとうございます。